

<p>コース名 <心理専門職コース> 発達診断方法論 臨床篇コース</p>	<p>2024年度回数 5回</p>	<p>担当者 富井奈菜実・松島明日香</p>
<p>授業の概要</p> <p>発達診断方法論 臨床篇コースは、実際に発達相談や教育相談に従事しようとする（あるいは、現にしている）人たちを対象にしています。受講にあたって、発達診断方法論基本編コースを受講しておられると理解がより深められると思います。</p> <p>本コースでは、主として発達の階層－段階理論に依拠しながら、子ども一人ひとりの発達を理解するための発達診断の方法論について事例を通して学んでいきます。子どもの発達は多様で、変化に富んでいます。それは魅力的である反面、発達理解において難しさを伴います。そこで本コースでは以下の2点に重点を置いて進めていきます。</p> <p>①理論的根拠をもった発達診断や発達の子ども理解</p> <p>発達検査場面で見せる子どもの反応から、「できた」「できない」ということが発達の何を意味するのか、さらには子どもの“できかた”や“取り組みかた”をどのような視点でとらえることが大切かを発達理論や発達研究を軸にしながら学びます。加えて、発達の見立てが難しいという声が多々聞かれる自閉スペクトラム症などの発達障害を抱える子どもの発達診断について、発達を診断するとはどういうことかについても考えていきます。</p> <p>②発達相談員が悩みややりがいを共有する場</p> <p>発達相談に従事する人は、業務の性質上、ケースを一人で抱え込んだり、自分の進めかたや見立てに一人で悩んでいることが少なくありません。同じ立場の人たちが集い、悩みを分かち合ったり、見立てを確かめ合ったり、さらには繋がりをつくる場にしたいと考えています。授業は対面で実施し、基本的に受講者の皆さんが発達診断において悩んでいる事例などを持ち寄りながら 検討していく形式で進めていく予定です。</p>		
<p>授業の流れの一例（スケジュール・内容等の計画）</p> <p>第1回：発達診断の概要</p> <p>第2回：1次元可逆操作期（1歳半頃）の発達と発達診断</p> <p>第3回：2次元形成期（2,3歳頃）の発達と発達診断</p> <p>第4回：2次元可逆操作期（4歳頃）の発達と発達診断</p> <p>第5回：3次元形成期（5,6歳頃）の発達と発達診断</p>		
<p><参考図書></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 白石正久・白石恵理子『教育と保育のための発達診断 新版 下巻』全障研出版部 ▪ 田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断3 幼児期Ⅰ』大月書店 ▪ 田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断4 幼児期Ⅱ』大月書店 ▪ 田中昌人・田中杉恵『子どもの発達と診断5 幼児期Ⅲ』大月書店 ▪ 荒木穂積・松島明日香・中村隆一・竹内謙彰・富井奈菜実「新しい発達診断法開発プロジェクト報告資料集 幼児期における発達の基本構造の検出と発達診断上の留意点」 		